

## 第 6 回 史跡米子城跡整備検討委員会 議事概要

日 時	令和 2 年 2 月 7 日（金） 13：30～16：00
会 場	米子市立山陰歴史館 会議室
出席者	【委員】 田中委員長・石倉委員・植田委員・小椋委員・金澤委員・神谷委員・川越委員・辻谷委員・林委員・前角委員 【事務局】 米子市経済部文化観光局文化振興課 下高文化振興課長・原文化財室長・濱野担当課長補佐・佐伯担当課長補佐・小林係長・平山主事
欠席者	【委員】 高田委員・永松委員・福田委員・中井委員 【指導助言機関】 文化庁・鳥取県

### 1. 開会挨拶（13：30）

・田中委員長

### 2. 現地視察（13：32～14：30）

米子城跡整備事業（令和元年度）の進捗状況について現地視察を実施。

### 3. 議事（14：30～16：00）

（1）令和元年度の整備事業について

（2）令和 2 年度の整備事業（案）について

<事務局> 令和元年度の整備事業については、現地視察で説明。

令和 2 年度の事業（案）について、添付資料のとおり説明

<委員> 公有地化のエリアについて、湊山球場と鳥取大学医学部の間にある民家が 3 軒くらいある三角地帯は含まれているのか。

<事務局> 現時点ではそのエリアは含まれていない。

<委員> 石垣カルテの作成が次年度事業のメインとなると思うが米子市で実施した実績があるのか。

<事務局> 全国的に石垣カルテを作成し修復に向かう方法が主流になっている。市が直営で実施するのではなく、委託事業で実施する予定。市内企業でも実施可能。

<委員> 暫定駐車場の整備とあるが、暫定ということは将来的にはなくなるのか。

<事務局> 史跡内の駐車場は原則認められていないが、史跡活用の観点から史跡外に駐車場の確保が難しい場合は、文化庁との協議で暫定的に史跡等活用専用駐車場を史跡エリア内に設置できる。将来的に史跡エリア外に駐車場が確保できた際には、暫定駐車場エリアも史跡公園として利用されることが想定される。

<委員> 湊山球場の用途廃止が令和 2 年 9 月となっているのは理由があるのか。

<事務局> 野球関係団体との協議や三の丸広場の整備工事の工期の兼ね合いで、できるだけ球場としての使用期間を長くとれるように調整した結果、9 月という時期を設定した。

<委員> 不動産鑑定や民有地の買い取りは球場のエリアのうちどの程度になるのか。二の丸エリアにある小原家長屋門の取り扱いは。

<事務局> 湊山球場の面積は約 2 万 4 千平米のうち民有地は約 5 千 3 百平米となっ

ている。

長屋門については二の丸のあった門であるというイメージを持たれてしまうので本来あった場所に移設できればと考えている。

<委員>令和2年度に意見具申する追加指定のエリアはどのエリアか

<事務局>参考資料で配布している図面で①と記載されている湊山球場エリアの追加申請を予定している。

<委員>現在実施されている危険木の伐採で枅形付近が通行禁止となっているが、今後も工事によって動線が変わってくるのか。その際には関係機関への周知を徹底してほしい。

<事務局>枅形については令和2年度は測量のみであるが、今後、修復工事が必要になると長期間の通行禁止ということも予想される。園路の発掘調査や天守台周辺の危険木の伐採などはできるだけ通行の支障にならないように調整したい。関係機関への事前の周知や広報に努めていく。

<委員>サイン整備の内容はどのようなものか。城に関するものだけか。

<事務局>行政の各部署がそれぞれ看板を設置しておりデザインがバラバラになっている。米子高専のご協力を仰ぎながら統一したデザインを検討していきたい。史跡の説明のみでなく、自然や植物、動物などの表示も行う予定。

<委員>史跡や城郭の専門的な話ではないが、三の丸広場を多目的広場として整備していく際に使い勝手の悪い広場になっては意味がない。多目的広場の整備に向けて利用者意見を聴いていかないといけないのでは。

<事務局>多様な意見を聴き、できることできないことを検討し進めていきたい。

<委員>三の丸の整備にあたっては遺構の発掘調査、遺構の復元等は予定しているのか。

<事務局>球場としての用途廃止後に発掘調査を実施。復元については可能性は0ではないが、具体的な整備案については今後検討していくことになる。

<委員>三の丸広場の整備も含めて、整備内容をコンペティションで提案してもらうなどイベントとして市民も巻き込んで機運を盛り上げるでいけばいいのではないか。

<事務局>利活用に向けたワークショップやキックオフイベントなども実施できればと考えている。ぜひ高専の生徒さんのアイデアを聞かせていただきたい。

<委員>米子高専の生徒さんが米子城のCGなどを作成しているが、有効利用できないのか。

<委員>学生がバーチャルで作成しているものであり、実際に使用するとなるといろいろ調整が必要になる。

<委員>米子城跡の素晴らしさを広めていかないといけない。三の丸を起点にしたルートや車から見えるような整備やVRやARなど魅せ方についても考えていかなければいけない。

<事務局>活用については委員の皆さまからご意見やご指導をいただいきたい。チームラボの作品を展示することで活用を図っているような福岡城の事例もある。また、静岡城や岐阜城などでは、発掘調査を観光資源として活用している。

(16:00 終了)